



中韓の歴史的背景と  
政治姿勢について解説する渡辺利夫総長

東アジア情勢州  
拓大総長講演 奥  
水沢日本外交協会  
設立30周年を迎えた  
奥州市の水沢日本外交  
ア情勢と日本の進路」と題して講演した。

は17日、同市水沢区の  
市文化会館で第100  
回記念講演会を開き、  
拓殖大の渡辺利夫総長  
が「緊張高まる東アジ

市民ら約300人が  
参加し、オープニング  
で同市の女性コーラス  
「椿の会」が後藤新平  
顕彰歌を合唱。続いて  
後藤の記録映像を上映  
し、後藤が1920年

渡辺総長は中韓両国  
の反日姿勢について  
「それぞれが長い歴史  
の中で培ってきた価値

敗北という屈辱をすす  
ぎ、清王朝時代の栄光  
に回帰しようとしている  
のだろう」と解説し、  
集団的自衛権の問題に

た。  
同協会は1984年  
設立。東北新幹線誘致  
に向けて活動した地元  
の青年会議所が中心と  
なり、有識者を招いて  
国際問題などに関する  
講演会を開いてきた。

観や国際秩序観念が背景にある」と指摘。  
中国の習近平国家主席が「中華民族の偉大な復興」を掲げていることを「アヘン戦争の敗北という屈辱をすすぐ」と語った。

関連し「リアリスティックな現状認識が必要だ」と語った。